

朝日新聞 > 記事

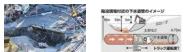
減らない下水流量、救助妨げ 県も苦慮「解消法探る」 道路陥没事故

有料記事

黒田壮吉 中村瞬 浅田朋範 2025年2月7日 8時40分



陥没地点の水位を下げるための下水道管のバイパス
=2025年2月5日午後8時29分、埼玉県八潮市、永沼田撮影



流れる水量の一部にとどまるという。

県は5日、ドローン調査で下水道管内（直径4・75メートル）にあるトラックの運転席部分とみられるものを発見。陥没現場の100～200メートル下流付近にあり、一部は水面から出ている状態だった。6日にも調査を続け、上流側ではがれきなどの堆積（たいせき）物が下水道管をふさぎ、すき間から汚水が噴出しているのも確認したという。

堆積物より上流の下水道管は汚水をで満たされており、破損箇所からは穴の中へあふれ出してもいるといふ。汚水がたまっている影響で、下水道管内の硫化水素の濃度も高くなっている。県によると、速い水流や土砂、硫化水素の濃度の問題があり、人が近づける状況ではないという。

救助活動難航 「最初から手詰まり感」

この記事は **有料記事** です。残り 1158 文字 有料会員になると続きを読みいただけます。

[今すぐ登録（1カ月間無料）](#)

[ログインする](#)

※無料期間中に解約した場合、料金はかかりません

この記事を書いた人

浅田朋範

さいたま総局 | 事件担当

+ フォロー

専門・関心分野

多文化共生、貧困、裁判

注目の連載記事 →

もっと見る

いつも、どこかで

「誰もあんたに興味ないよ」
母が残してくれた言葉には続
きがあった



孤独死する現役世代

就職氷河期世代で進む二極化
孤立のリスク、次の世代にも
続く可能性



ルミネが挑む新しいショッピング体験

アジアから世界へ！ルミネの未来展望

農家と農業を守る「助け合いの輪」

小山薰堂氏が被災地の再建を語り合う

CTCが描く未来技術ロードマップとは

エンジニアが語る、社会課題解決と技術

高校生への「がん出張授業」を開催

正しい知識で身近な病気と向き合う

なぜ270年も愛され続けるのか

ジュネーブ発の高級時計、技と美の秘密

全国に広がる歯科訪問診療の担い手不足

日本歯科大が描く歯科医院の未来とは？

アクセスランキング →

もっと見る

読まれています

昨日のトップ 5

死ね、デブ…言われても我慢、積もる無力感 知られざる刑務官の苦悩

「審理尽くされていない」 手術後わいせつ事件で有罪破棄、最高裁

日テレ「イッセQ」 番組内容変更の理由を公表「今後も放送しない」

ある42歳の死…無職、独身、両親の他界 誰にも引き取られない遺骨

神奈川知事「せめてもの50万円」 高校授業料無償化で所得制限緩和

ソーシャルランキング →

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

1 「神様から選ばれたトランプ大統領は確信」 石破首相、何度も称賛 504 |

2 【随時更新】トランプ氏が大統領令に統々署名 一目で分かる政策一覧 334 |

3 対米投資150兆円に引き上げ 首脳会談、石破氏がトランプ氏に表明 215 |

Facebook | X

注目コンテンツ

ご案内

【& Travel】

優雅な所作

永瀬正敏が撮った京都



【& w】

<PR> 鈴木愛理さんと語る